

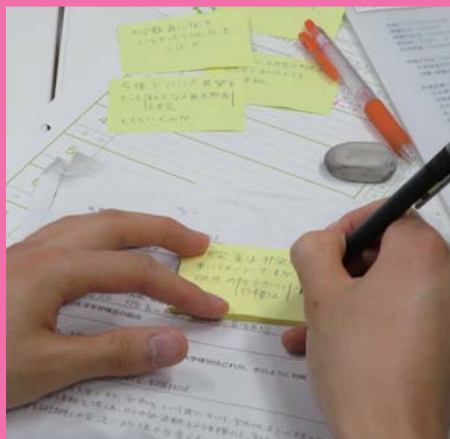
◎お申し込み・お問い合わせ

大阪大学 教育学習支援センター
<http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp>
 〒560-0043 豊中市待兼山町 1-16
 豊中キャンパス 全学教育総合棟Ⅱ 4階 417
 TEL.06-6850-5606
office@tlsc.osaka-u.ac.jp



大阪大学ファカルティ・ディベロップメント
 プログラムガイド
 Faculty Development Program Guide

2015年度 10月～3月





マップ プログラム

教育学習支援センターが
実施している各種プログラムを
内容別に図示しているマップです。
ご関心のあるプログラムにぜひご参加ください。

新＝新任教員 / 中＝中堅・リーダー教員 / 職＝職員
◎＝最適！ ○＝おすすめ！ △＝参考になります
例：新◎＝新任教員に最適なプログラムです！

教育学習支援センター（TLSC）の活動

教育学習支援センターでは、大学教員に対する教育支援を行っています。具体的には、授業の計画、実施、リフレクションというコースデザインサイクルのステップごとに、さまざまなプログラムを用意しています。ご自身の課題に応じて最適なプログラムを選ぶことができます。

また、各種プログラムは対面型のセミナーやワークショップだけではなく、いつでもどこでも学べるeラーニングでも提供されています。さらに個別のコンサルテーションサービスも提供されています。ご自身のスケジュールにあわせて、ご都合のよい学習方法を選択ください。

毎月	10月	11月	12月	1月・2月	3月
1 week			12/2 (水) 13:00～15:00 (豊) 探求学習のデザイン >P.2 15:15～17:15 (豊) パフォーマンス評価入門 ～学習成果を可視化する～ >P.6	2/2 (火) 12:30～14:30 (吹) 手軽にアクティブ・ ラーニングを 授業に取り入れる方法 >P.5	3/1 (火) 10:30～12:00 (豊) Open Educational Resource 活用入門 >P.4 13:00～14:30 (吹) Open Educational Resource 活用入門 >P.4
2 week		11/10 (火) 13:00～15:00 (吹) 探求学習のデザイン >P.2 15:15～17:15 (吹) パフォーマンス評価入門～学習 成果を可視化する～ >P.6 11/11 (水) 10:00～10:30 (吹) ビデオ教材を活用して 授業をデザインする >P.3 10:30～12:00 (吹) ノートPCでお手軽ビデオ 教材を作ってみませんか? >P.3 13:00～14:30 (吹) 講義自動収録配信システム (Echo360) 導入相談会 ～部局や研究室に導入するには～ >P.7	12/9 (水) 13:00～15:00 (豊) 自学自習を促す シラバス作成法 >P.2 12/10 (木) 15:00～17:00 (豊) 英語でシラバスを書く！ >P.2	3/8 (火) 13:30～17:00 (豊) オンライン教材作成入門 >P.4	
3 week	10/13 (火) 15:00～17:00 (豊) 導入に使える、 コミュニケーション ゲームのアラカルト >P.5	11/16 (月) 13:00～13:30 (豊) ビデオ教材を活用して 授業をデザインする >P.3 13:30～15:00 (豊) ノートPCでお手軽ビデオ 教材を作ってみませんか? >P.3 15:15～16:45 (豊) 講義自動収録配信システム (Echo360) 導入相談会 ～部局や研究室に導入するには～ >P.7 11/17 (火) 13:00～14:30 (豊) 科目の中でのアカデミック ライティング指導法 >P.5	12/17 (木) 15:00～17:00 (豊) ルーブリックを作ろう！ ～時短・ブレない・公平な 評価方法～ >P.6	2/19 (金) 14:40～16:10 (豊) 教育と研究を効率化する ツールの実践的活用術 >P.4	
4 week	●(木) 15:00～16:00(豊) iPad カフェ >P.7	10/22 (木) 13:00～14:30 (吹) 90分でマスター！学生の受講 態度が変わる。授業をキャリア 教育化する10の秘訣 >P.2	11/26 (木) 13:00～15:00 (吹) 英語でシラバスを書く！ >P.2 15:15～17:15 (吹) ルーブリックを作ろう！ ～時短・ブレない・公平な 評価方法～ >P.6	12/21 (月) 13:00～17:00 (豊) 授業を分析的に振り返る ための教育・学習理論 >P.7 12/22 (火) 15:00～17:00 (豊) ストーリーベースの ワークショップデザイン >P.5	2/26 (金) 14:30～16:10 (豊) 伝わるスライドの原則 >P.4 17:30～19:00 (豊) 若手教員のための コミュニティカフェ >P.7
5 week	10/28 (水) 14:40～16:10 (豊) 90分でマスター！学生の受講 態度が変わる。授業をキャリア 教育化する10の秘訣 >P.2 10/29 (木) 16:30～18:30 (豊) 手軽にアクティブ・ ラーニングを授業に 取り入れる方法 >P.5				

コースデザインと実施サイクル

	1 授業計画	2 教材作成	3 教育方法	4 学習評価
	授業の組み立てを学ぶ プログラム	教材作成の方法を学ぶ プログラム	様々な教育方法を学ぶ プログラム	学習の評価方法を学ぶ プログラム
	コース実施前	コース実施前	コース実施中	コース実施後
セミナー・ ワークショップ・e ラーニング教材	>P.2 90分でマスター！学生の受 講態度が変わる。授業をキャ リア教育化する10の秘訣 新◎ 中◎ 職△	>P.3 ビデオ教材を活用して授業を デザインする 新◎ 中◎ 職△	>P.5 手軽にアクティブ・ラーニン グを授業に取り入れる方法 新◎ 中◎ 職△	>P.6 パフォーマンス評価入門 ～学習成果を可視化する～ 新◎ 中◎ 職△
	>P.2 探求学習のデザイン 新◎ 中◎ 職△	>P.3 ノートPCでお手軽ビデオ教 材を作ってみませんか？ 新◎ 中◎ 職△	>P.5 導入に使える、コミュニケー ションゲームのアラカルト 新◎ 中◎ 職△	>P.6 ルーブリックを作ろう！ ～時短・ブレない・公平な評 価方法～ 新◎ 中◎ 職△
	>P.2 自学自習を促すシラバス作成法 新◎ 中◎ 職△	>P.4 伝わるスライドの原則 新◎ 中◎ 職△	>P.5 ストーリーベースの ワークショップデザイン 新◎ 中◎ 職△	
	>P.2 英語でシラバスを書く！ 新◎ 中◎ 職△	>P.4 教育と研究を効率化するツ ールの実践的活用術 新◎ 中◎ 職△	>P.5 科目の中でのアカデミック ライティング指導法 新◎ 中◎ 職△	
	>P.3 Teach in English～英語で教 えるということ～ 新◎ 中◎ 職△	>P.4 Open Educational Resource 活用入門 新◎ 中◎ 職△	>P.6 英語のアカデミックライテ ィング指導法 新◎ 中◎ 職△	
	>P.7 授業を分析的に振り返るた めの教育・学習理論 新◎ 中◎ 職△	>P.4 オンライン教材作成入門 新◎ 中◎ 職△		
	>P.10 コースデザインワークショップ			
	>P.8-9 eラーニング教材			
相談会	>P.7 iPadカフェ 新◎ 中◎ 職△ >P.7 若手教員のためのコミュニティカフェ 新◎ 中△ 職△ >P.7 講義自動収録配信システム (Echo360) 導入相談会～部局や研究室に導入するには～ 新◎ 中◎ 職△ >P.11 コンサルティングサービス 新◎ 中◎ 職△			

◎コースデザインと実施サイクル

コース（授業科目）を目的・目標に基づいてデザインし、実際に教授し、さらに改善のためのリフレクションを行う一連のサイクルのことです。



セミナー

比較的短時間のプログラムです。
毎年開催している恒例のものから
今期初めてのものまで様々取り揃えています。

※講師の所属は2015年9月現在です。

お申し込みはこちらから <http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp>



- ・本セミナーへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。
- ・本セミナーに参加した場合、3年に1度受講することになっている「大阪大学FDフォーラム」に参加したことみなされます。
- ・ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。

●授業計画 ●教材作成 ●教育方法 ●学習評価

●90分でマスター！学生の受講態度が変わる、授業をキャリア教育化する10の秘訣

講師：家島明彦（教育学習支援センター）…90分

◎豊中キャンパス

日時：10月28日(水) 14:40～16:10 会場：全学教育推進機構 HALC1 A棟 212

◎吹田キャンパス

日時：10月22日(木) 13:00～14:30 会場：コンベンションセンター 研修室

〈概要〉一生懸命教えているのに学生のやる気が低い。そんなふうに感じたことはありませんか？最近の学生は「この授業は将来の自分にとって役に立つ授業なのか？」ということに気をする傾向があります。大学での学びにコストパフォーマンスという感覚を持ち込むなんてケシカラン！と腹を立てていても仕方ない時代です。ところが、この問題、実は解決可能です。教える内容・量はそのままに、ほんの少し工夫するだけで、学生の受講態度が変わる、とっておきの秘訣があります。このセミナーでは、その秘訣を90分でお伝えします。



定番！

新任教員 ○
中堅・リーダー教員 ○
職員 △

●探求学習のデザイン

講師：佐藤浩章（全学教育推進機構）…120分

◎豊中キャンパス

日時：12月2日(水) 13:00～15:00 会場：全学教育推進機構 HALC1 A棟 212

◎吹田キャンパス

日時：11月10日(火) 13:00～15:00 会場：コンベンションセンター 研修室

〈概要〉学生の主体的な学びを促進するためには、探究を基盤とした学習（Inquiry-Based Learning）を授業やカリキュラムに導入していく必要があります。IBLは卒業論文のように長期的なものから、2コマ程度で完結するような短期的なものもあります。探究学習は自律学習の理想ですが、課題だけを与えて放任するだけではうまく

いきません。IBLを構成する要素には、課題、問い、目標、タイムスケジュール、プロジェクトマネジメント、評価がありますが、本セミナーでは、それぞれを適切に設定する、方法について学びます。現在、探究学習に取り組んでいる教員、これから探究学習に取り組んでみたい教員にお勧めです。

New!

新任教員 ○
中堅・リーダー教員 ○
職員 △

●自学自習を促すシラバス作成法

講師：大山牧子（教育学習支援センター）…120分

◎豊中キャンパス

日時：12月9日(水) 13:00～15:00 会場：全学教育推進機構 HALC1 A棟 212

〈概要〉シラバスは授業の設計図であり、授業の出発点です。そのシラバスの記載は十分に学生の学習を促すものになっているでしょうか。あるいは、国際社会で通用するものになっているのでしょうか。外部評価においても、そして教員の個人業績評価においても、シラ

バスの重要性は高まっています。本セミナーでは、学生の自学自習を促すシラバス作成方法を身につけます。来年度の授業は、ぜひ新しいシラバスを使ってスタートしましょう。

※参加者は、ご自身の授業のシラバスを持参ください。

定番！

新任教員 ○
中堅・リーダー教員 ○
職員 ○

●英語でシラバスを書く！

講師：佐藤浩章（全学教育推進機構）…120分

◎豊中キャンパス

日時：12月10日(木) 15:00～17:00 会場：全学教育推進機構 HALC1 A棟 212

◎吹田キャンパス

日時：11月26日(木) 13:00～15:00 会場：コンベンションセンター 研修室

〈概要〉シラバスは授業の設計図であり、授業の出発点です。そのシラバスの記載は十分に諸外国でも通用するものになっているでしょうか。外部評価においても、そして教員の個人業績評価においても、シラバスの重要性は高まっています。本セミナーでは、国

際社会で通用するシラバスを英語で書く方法を身につけます。来年度の授業は、恥ずかしい英語のシラバスを用意して臨みましょう。

※参加者はご自身のシラバス（どれか1つ）を持参ください。

New!

新任教員 ○
中堅・リーダー教員 ○
職員 ○

●授業計画 ●教材作成 ●教育方法 ●学習評価

●Teach in English～英語で教えるということ～

講師：山本 ベバリー・アン（人間科学研究所）

◎日程未定（日程が決まり次第、教育学習支援センターのウェブサイトでご案内します）

New!

新任教員 ○
中堅・リーダー教員 ○
職員 ○

〈概要〉英語で授業を実施する先生向けのセミナーです。英語で授業をデザイン／実施する際のポイントをご紹介します。セミナーの言語は日本語と英語の両方で行われます。

●ビデオ教材を活用して授業をデザインする

講師：大山牧子（教育学習支援センター）…30分

◎豊中キャンパス

日時：11月16日(月) 13:00～13:30 会場：全学教育推進機構 スチューデントcommons セミナー室 1

◎吹田キャンパス

日時：11月11日(水) 10:00～10:30 会場：コンベンションセンター 研修室

〈概要〉手軽にビデオ教材を作成できるようになって、授業の可能性がぐんと広がりました。授業外で、講義としてのビデオ教材の視聴を課して、授業内では演習やディスカッションに取り組む反転授業や、海外出張中に遠隔地から授業を行うことも可能になり

ます。本セミナーでは、ビデオ教材を用いた授業のデザインのポイントをご紹介します。ぜひ、「ノート PC でお手軽にビデオ教材を作ってみませんか？」と併せて受講してください。

New!

新任教員 ○
中堅・リーダー教員 ○
職員 ○

●ノートPCで手軽ビデオ教材を作ってみませんか？

講師：黒田嘉宏（サイバーメディアセンター）…90分

◎豊中キャンパス

日時：11月16日(月) 13:30～15:00 会場：全学教育推進機構 スチューデントcommons セミナー室 1

◎吹田キャンパス

日時：11月11日(水) 10:30～12:00 会場：コンベンションセンター 研修室

〈概要〉Echo パーソナルキャプチャ（大阪大学教職員はダウンロード可）を用いれば、お手持ちのPCで手軽にビデオ教材を作成し、専用サイトやCLEを通して学生に配信することができます。授業スライドを見せながら音声で解説を加えるビデオ教材を、予習や復習、補講等にご利用いただけます。また、カメラ（PC付属可）で教員の様子も同時に収録することも可能です。本ワークショップでは、

ご自身のノート PC で実際に映像教材をつくりながら、授業での活用方法を検討いただきます。

※当日はノート PC(Windows もしくは Mac)をお持ち下さい。USB カメラは機つち準備しておりますが、数が足りない場合はご用意ください。

※授業での公開をご希望の方は、お申し込みフォームの備考欄に「授業名」をお書き下さい。

※「ビデオ教材を活用して授業をデザインする」と併せたご参加を推奨いたします。





セミナー

お申し込みはこちらから <http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp>



※講師の所属は2015年9月現在です。

●授業計画 ●教材作成 ●教育方法 ●学習評価

●伝わるスライドの原則

講師：浦田 悠（教育学習支援センター）…100分

◎豊中キャンパス

日時：2月26日(金) 14:30～16:10 会場：全学教育推進機構 HALC1 A棟 212

〈概要〉目を引くスライドにしようとして、イラストやアニメーションを多用したり、派手な背景アートを使ったりしていませんか？あるいは、PowerPointのテンプレートそのままの図表や単調な箇条書きだけのスライドを作っていませんか？このセミナーでは、日々の講義で使用するスライドをよりよいものにしたいという教員の方へ、見やすくわかりやすいプレゼン資料を作成するための、デザインの法則や役に立つ機能を紹介します。

※参加者は PowerPoint や Keynote で作成されたスライド資料を1部印刷の上ご持参下さい（グループワークと振り返りの材料となります）。



●教育と研究を効率化するツールの実践的活用術

講師：浦田 悠（教育学習支援センター）…90分

◎豊中キャンパス

日時：2月19日(金) 14:40～16:10 会場：全学教育推進機構 HALC1 A棟 212

〈概要〉「じっくり文献を読む暇がない」「積み重なった本や資料を整理して参照するのが大変」などの問題は、多くの教員が慢性的に抱えている問題でしょう。しかし、いくつかの機材やアプリケーションを駆使する術を身につければ、資料作成の作業を飛躍的に効率化・深化させることができます。また、そのスキルは研究や教育を

進める上で幅広く活用することができます。このセミナーでは、資料の電子化→管理→読み込み→資料作成までのステップを取り上げ、すぐに使えるヒントを提供します。

※Macで使えるアプリケーションを中心に取り上げますが、Macのアプリケーションと同様の機能を持つ Windows アプリケーションも紹介する予定です。

新任教員 ○
中堅・リーダー教員 ○
職員 ○

●Open Educational Resource 活用入門

講師：竹村治雄（サイバーメディアセンター）…90分

◎豊中キャンパス

日時：3月1日(火) 10:30～12:00 会場：全学教育推進機構 HALC1 A棟 212

◎吹田キャンパス

日時：3月1日(火) 13:00～14:30 会場：サイバーメディアセンター本館 1F サイバーメディア commons Mishite

〈概要〉教育資源を無償で公開する Open Educational Resource (OER) 運動が世界的に進展しつつあります。大阪大学でも2005年よりオープンコースウェアを運営しています。また、大規模公開オンライン講座MOOCが世界的な注目を集めています。本セミナーでは、Open Education、OCW、MOOCに興味をもたれている教員を対象に、世界および日本での動向や、自分の講義教材を

OER や OCW として公開する際を知っておくべきことなどを紹介します。また、これらを利用した教育改善の可能性についても紹介します。（講師は、Open Education Consortium Board member、日本オープンコースウェアコンソーシアム代表幹事、大阪大学 OCW 運営責任者です。）

新任教員 ○
中堅・リーダー教員 ○
職員 ○

●オンライン教材作成入門

講師：竹村治雄（サイバーメディアセンター）…210分

◎豊中キャンパス

日時：3月8日(火) 13:30～17:00 会場：全学教育推進機構 HALC1 A棟 212

〈概要〉自身の授業をオンライン教材として、フレンデッドラーニングや反転授業の教材として活用してみませんか？このセミナーではインターネットを用いたビデオ教材や MOOC や SPOC などのオンライン教材作成のための基礎的な事項を、実際の演習をまじえながら紹介します。具体的には、オンライン教材の全体の構成手法、教

材を構成する各種要素、ビデオ教材の作成方法や作成ツールの紹介、効果的なクイズやテストの作成方法やそのためのツールの利用方法や作成したオンライン教材の授業への活用方法等を、演習をまじえて紹介します。

新任教員 ○
中堅・リーダー教員 ○
職員 ○

●手軽にアクティブ・ラーニングを授業に取り入れる方法

講師：家島明彦（教育学習支援センター）…120分

◎豊中キャンパス

日時：10月29日(木) 16:30～18:30 会場：全学教育推進機構 HALC1 A棟 212

◎吹田キャンパス

日時：2月2日(火) 12:30～14:30 会場：コンベンションセンター 会議室 1

〈概要〉「アクティブ・ラーニングは自分の授業では無理！」と思っている方も多いと思います。本セミナーでは、多様なアクティブ・ラーニングを促す教育技法を説明し、簡単に、手軽に講義法に取り入れる方法をお伝えします。予定している技法の例（「ペア・リーディング」「反転授業」「Think Pair and Share」「PBL」「間違い探し」

「バズセッション」「EQ リスニング」）また技法と同時に、アクティブ・ラーニングの誤解を解くために、その意義についても再考します。参加者は一通り技法を学んだ後に、自らの授業に取り入れるために授業計画を立案します。
※参加者はご自身のシラバス（どれか1つ）を持参ください。

新任教員 ○
中堅・リーダー教員 ○
職員 ○

●導入に使える、コミュニケーションゲームのアラカルト

講師：蓮行（コミュニケーションデザイン・センター）…120分

◎豊中キャンパス

日時：10月13日(火) 15:00～17:00 会場：全学教育推進機構 スチューデント commons セミナー室 2

〈概要〉大阪大学コミュニケーションデザイン・センターが開講する「バフォーミングアーツの世界」や、「文理融合創造セミナー」などのワークショップ型・合意形成型の講義の導入で用いる、コミュニケーションゲームを紹介します。性別や属性、専門性の違う受講者同士が、いかに短時間でそれらの「差異」を超えて合意形成す

るのかというプロセスを、ゲームを通じて体験し「研究・講義・社会学連携・社会実装」といった、大学人に求められる能力の向上につなげます。同時に、大学人という枠を超えて「他者との関わりの中で学び続ける力」を得るためのヒントを、120分で生成し、共有します。

New!
新任教員 ○
中堅・リーダー教員 ○
職員 ○

●ストーリーベースのワークショップデザイン

講師：蓮行（コミュニケーションデザイン・センター）…120分

◎豊中キャンパス

日時：12月22日(火) 15:00～17:00 会場：全学教育推進機構 HALC1 A棟 212

〈概要〉語学を身につけて、誰と誰をどんな場面で繋ぐのか？新しく開発された工学的な技術が、どんな人のどんな生活のいかなる利便性に貢献するのか？患者の個々の病態や事情に寄り添いながら、全体の業務量を適切にコントロールできる看護技術とはいかなるものなのか？これらの課題は、いずれも「知識は知識として独立して

使えるものではなく「誰が、どんな場面で、何の為に」という「ストーリーベース」で事象を捉えなければ、役に立たない」ことを示しています。大学の講義や社会学連携の事業で使われることが多くなってきたワークショップ手法を、ストーリーベースで活用するための講座です。

New!
新任教員 ○
中堅・リーダー教員 ○
職員 △

●科目の中でのアカデミックライティング指導法

講師：堀 一成（全学教育推進機構）…90分

◎豊中キャンパス

日時：11月17日(火) 13:00～14:30 会場：全学教育推進機構 スチューデント commons セミナー室 2

〈概要〉アカデミックライティング指導は、特定の科目だけで完結するものでなく、すべての科目担当教員がその能力育成に気を配る必要があります。初めて自分の担当科目にライティング指導の内容を入れていこうと計画されている教員を主な対象とし、これまでの指導経験から、最低限学生に伝えるべき内容と、その説明のテクニックについて紹介します。

※担当者は学部1年生対象の共通教育科目で課されるレポートの指導レベルを前提にお話ししますが、専門科目の実験レポートや、卒論につながるゼミライティングの話題もディスカッションの対象に含めます。





セミナー

お申し込みはこちらから <http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp>



- ・本セミナーへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。
- ・本セミナーに参加した場合、3年に1度受講することになっている「大阪大学FDフォーラム」に参加したことみなされます。
- ・ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。

※講師の所属は2015年9月現在です。

●授業計画 ●教材作成 ●教育方法 ●学習評価

●英語のアカデミックライティング指導法

講師：ヨコタ・ジェリー（言語文化研究科）

◎日程未定（日程が決まり次第、教育学習支援センターのウェブサイトでご案内します）

New!

新任教員 ◎
中堅・リーダー教員 ◎
職員 ◎

〈概要〉英語によるレポート課題を課している先生に向けたセミナーです。セミナーの言語は日本語と英語の両方で行われます。

●パフォーマンス評価入門～学習成果を可視化する～

講師：佐藤浩章（全学教育推進機構）…120分

◎豊中キャンパス

日時：12月2日(水) 15:15～17:15 会場：全学教育推進機構 HALC1 A棟 212

◎吹田キャンパス

日時：11月10日(火) 15:15～17:15 会場：コンベンションセンター 研修室

New!

新任教員 ◎
中堅・リーダー教員 ◎
職員 ◎

〈概要〉知識や情報を伝達するだけの授業の見直しが求められています。21世紀に生きる世代には、コミュニケーション、チームワーク、問題発見、問題解決といった汎用的な能力が必要であり、それらの能力を育成する授業への転換が始まっています。しかしながら、そのような能力をいったいどのように評価したら良いのでしょうか。従来

のようなテストやレポートでの評価には限界があります。本セミナーでは、ルーブリック評価、ポートフォリオ評価、コンセプトマップ、リフレクションシートを使った自己評価・ピア評価など、学習成果（パフォーマンス）を可視化する新しい評価について学びます。

※参加者はご自身のシラバス（どれか1つ）を持参ください。

●ルーブリックを作ろう！～時短・ブレない・公平な評価方法～

講師：佐藤浩章（全学教育推進機構）…120分

◎豊中キャンパス

日時：12月17日(木) 15:00～17:00 会場：全学教育推進機構 HALC1 A棟 212

◎吹田キャンパス

日時：11月26日(木) 15:15～17:15 会場：コンベンションセンター 研修室

定番!

新任教員 ◎
中堅・リーダー教員 ◎
職員 ◎

〈概要〉1枚目のレポートの採点基準と50枚目のそれがずれていると気がなったことはありませんか？評価にかける時間をもっと短縮できたらと思ったことはありませんか？ルーブリックがそんな悩みを解決してくれます。ルーブリックとは、教育・学習成果の評価の厳密化と効率化を進めるために使われる評価ツールです。本セミナーではルーブリックの作成手続きと様々な事例を紹介しながら、研修

時間内に自らの授業で活用できるルーブリックを作成します。成績評価の厳密化と効率化を進めたい教員だけではなく、カリキュラム・プログラム評価に関心のある教職員、人事評価に関心のある教職員の方にも有用な内容です。

※参加者は事前に送付されるファイルを取り込んだパソコンを持参ください。持参できない場合はパソコンを使わずに紙で作業もできます。



●授業を分析的に振り返るための教育・学習理論

講師：松河秀哉（全学教育推進機構）…240分

◎豊中キャンパス

日時：12月21日(月) 13:00～17:00 会場：全学教育推進機構 スチューデントcommons セミナー室 2

新任教員 ◎
中堅・リーダー教員 ◎
職員 △

〈概要〉行動主義、認知主義、構成主義、状況論、社会的構成主義といった、教育が依拠してきた学習理論や認識論の変遷と、それに合わせた教育方法・教育観の変遷を説明します。その後、各自

が行ってきた授業について分析を行い、グループで、どのように変えていける可能性があるかを話し合います。

iPad カフェ

講師：岩居弘樹（全学教育推進機構）…60分

◎豊中キャンパス

日時：毎月第4木曜日 15:00～16:00 会場：全学教育推進機構 HALC1 A棟 212

定番!

新任教員 ◎
中堅・リーダー教員 ◎
職員 ◎

〈概要〉iPadの活用方法、HALC (Handai Active Learning Classroom: iPad 教室)の使い方、アプリ紹介や情報交換など、自由に語り合う場です。どなたでも参加いただけます。これから

iPadを使ってみたいという方も歓迎です。予約は不要です。メールリストでの情報交換もしておりますので、ご希望の方はご連絡ください。

若手教員のためのコミュニティカフェ

講師：根岸千悠（教育学習支援センター）…90分

◎豊中キャンパス

日時：2月26日(金) 17:30～19:00 会場：全学教育推進機構 HALC1 A棟 212

定番!

新任教員 ◎
中堅・リーダー教員 △
職員 ◎

〈概要〉研究と教育のバランスや、学生とのコミュニケーション、効率的な事務作業の方法など悩んでいることはありませんか？3000人にいるのは阪大教員。でも実際お会いしたところ先生はそんなに多くない、という方もいらっしゃるのではないでしょうか。本セミナーでは、カフェのようなリラックスした雰囲気の中、少人数で同じテーマを話しながら、悩みを共有し、解決策を探っていきます。終了後には場所を移しての懇親会も予定していますので、お気軽にご参加ください。



講義自動収録配信システム(Echo360)導入相談会～部局や研究室に導入するには～

講師：浦田 悠（教育学習支援センター）、黒田嘉宏（サイバーメディアセンター）…90分

◎豊中キャンパス

日時：11月16日(月) 15:15～16:45 会場：全学教育推進機構 スチューデントcommons セミナー室 1

◎吹田キャンパス

日時：11月11日(水) 13:00～14:30 会場：コンベンションセンター 研修室

New!

新任教員 ◎
中堅・リーダー教員 ◎
職員 ◎

〈概要〉Echo360は、講義映像やスライドおよび音声を収録し、学生や教職員などに公開することができるシステムです。このシステムを活用することで、講義はもちろん、部局や研究室でのオンライン講習や研修のための映像も収録・配信することができます。今回は、Echo360を実際に導入する際のコストや流れ、および具体的な活用法に関する相談会を開催します。部局や研究室でEcho360の導入を検討されている教職員の方のご参加をお待ちしております。

※Echo360システムの実際の操作法や活用方法等については、FDセミナー「ビデオ教材を活用して授業をデザインする」および「ノートPCで手軽ビデオ教材を作ってみませんか？」も開講しております。





●理論 ●授業計画 ●教材作成 ●教育方法 ●学習評価

●理論 ●授業計画 ●教材作成 ●教育方法 ●学習評価

実践的FDプログラムオンデマンド講義（全国私立大学FD連携フォーラム）

大学教員の4つのアカデミック・プラクティス（教育・研究・社会貢献・管理運営）に対して、系統的な理論や実践に関するオンデマンド講義が準備されています。

◎講義例

●現代の高等教育 講師：金子 元久 （根拠）

「高等教育」と「大学」はどのように異なるのか。高等教育とは何か解説されています。「自らの大学の置かれた立場と今後の対応を考えること」ができるようになることを目指します。

●大学評価論 講師：安岡 高志 （根拠別）

大学評価は何のために行われるのか。大学評価が導入された背景は何か。国内外の背景や目的が解説されています。PDCAサイクルを機能させるための条件についても考察されています。

●青年期の心理 講師：白井 利明 （根拠別）

青年期の発達課題とは何か。青年期における葛藤の理解の仕方についての解説を受け、青年期の教育について発達の視点から考えていきます。

●発達障害のある学生の学び
ーアスペルガー症候群を中心にー 講師：荒木 穂積 （根拠別）

発達障害の一つであるアスペルガー症候群の歴史と現状について学びます。アスペルガー症候群のある学生への学びの支援について理解を深めます。

●研究者にできる多様な
アウトリーチ活動の紹介 講師：半田 利弘 （根拠別）

研究者が留意すべき表現上・演出上の注意点が解説され、アウトリーチ活動を効果的に実行できるようになるヒントをどのようにして見つけるか紹介されています。

●大学教職員のための
大学管理運営基礎 講師：肥塚 浩 （根拠別）

大学管理運営において教職員が果たすべき役割とは何か。大学の使命と教職員の役割を考える際に、大学のミッションから教職員個人のレベルまで運動していることが解説されています。

●近年の大学改革の進展を踏まえた大学管理
運営の新たな発想 講師：山本 真一 （根拠別）

急速に進展している大学改革が、大学管理運営にとってどのような意味を持つのか。「大学教職員として、新たな状況に応じ管理運営上の適切な判断ができる能力」を養うことを目標としています。

●アクティブ・ラーニングの理論と
実践における課題 講師：三浦 真琴 （根拠別）

アクティブ・ラーニングを実現するために提示された理論のうち、実践に資すると思われるものが紹介されています。「アクティブ・ラーニングを目指す授業をデザインできる」ことを目標としています。

●高等教育における授業技術
講師：木野 茂 （根拠別）

授業におけるコミュニケーションの差で授業効果が異なります。なぜ双方向型授業がよいのか。双方向型授業の具体的な例をあげながら説明されています。

●学習教材作成における著作権等の理解
講師：坂井 知志 （根拠別）

著作権法を遵守しながら学習教材をどのように作成することが望ましいのかについての方法論も学びます。

●学生授業評価の読み方と授業への活用
講師：安岡 高志 （根拠別）

授業評価に関して先進国である米国の例を題材に、どのような因子がどのように影響するか学びます。また授業評価に関して、日本の学生の意見も紹介されています。

●大学の授業の設計 講師：沖 裕貴 （根拠別）

「カリキュラムや授業の設計において、学習成果を明確にし、適切に到達目標（行動目標）を設定することができる」ことを目指し、行動目標に即した成績評価について考えていきます。

金沢電子出版 eラーニング教材

講義に活かせるFD講座「入門編」

先生のノウハウをさらに活かせるコツとは？日々の講義に活かせる映像教材です。



授業に活かすプレゼンテーション

授業や講義でのより効果的なプレゼンテーションのための心構えと技術について分かりやすく解説しています。



大阪大学GFDプロジェクト「Let's teach in English」

大阪大学教員が「自信を持って英語で講義できる」ようになることを目的としたe-Learning教材です。

*大阪大学GFDプロジェクトとは、大学教育のグローバル化に対応したFD支援事業「教育のグローバル化、教員の英語力強化のためのFDです」。



大阪大学授業支援システム(CLE)「大阪大学FD研修 映像配信」

●／●／●／●／● （根拠別）

「大阪大学FDフォーラム」(全学ファカルティ・デベロップメント研修(全学FD))の映像を配信しています。現在、2009年度～2014年度の全学FDのビデオを公開しています。

□●「授業デザイン入門」ーシラバスの書き方ー （根拠別）
講師：佐藤 浩章□●「大人教講義入門」 （根拠別）
講師：小林 直人□●「効果的なグループワークの進め方」 （根拠別）
講師：佐藤 浩章・小林 直人・野本 ひさ□●「成績評価法」 （根拠別）
講師：野本 ひさ□●第1章 コミュニケーションとプレゼンテーション （根拠別）□●第2章 効果的なプレゼンテーションの構成 （根拠別）□●第3章 プレゼンテーションの構成 （根拠別）□●第4章 効果的なシート(パワーポイントを使って) （根拠別）□●第5章 効果的なシート(静止画や動画の扱い方) （根拠別）□●第6章 話し方と姿勢 （根拠別）□●第7章 アクシデントに対処する （根拠別）□●Internationalization of Education
高等教育の国際化について学ぶための教材 （根拠別）

英語による講義方法を学ぶための教材
(自然科学分野・人文社会科学分野)
英語による討議方法を学ぶための教材
(自然科学分野・人文社会科学分野)

□●Discipline-specific Approaches
個別分野に特化した教材 （根拠別）



ワークショップ

まとまった時間で
コースデザインを包括的に
学べます。

- ・本ワークショップへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。
- ・本ワークショップに参加した場合、3年に1度受講することになっている「大阪大学FDフォーラム」に参加したこととみなされます。

コースデザイン ワークショップ

1泊2日の宿泊形式で、与えられた学習テーマにもとづき、グループ内メンバーで同一のコースデザインを行います。また授業を担当したことがない教員、連続する授業の一部しか担当していない教員、グループで課題を遂行する学習スタイルを好む教員、短期間で集中して学習したい教員に推奨します。

■日程

2016年2月11日(木)～12日(金)

■会場

スペースアルファ神戸（大阪大学以外の方は宿泊費実費負担）

■プログラム

1日目(10:00～21:00)

◎オリエンテーション、アイスブレイキング

◎ミニ講義

Ⅰ何が学生の学びを促進させるのか Ⅱシラバス作成法
Ⅲ様々な授業方法 Ⅳクラスデザイン法

◎ワーク〈共通のコースの開発〉

Ⅰ目標設定 Ⅱ授業計画 Ⅲシラバス作成 Ⅳ・Ⅴ授業
計画案

2日目(8:30～13:30)

◎ワーク〈共通のコースの開発〉Ⅵ模擬授業の練習

◎模擬授業



■参加者の声

「シラバスの内容である目的・目標、講義内容、評価という流れの中には、一貫性があるはずだが、これまでは自分の感覚や慣例で作成してきたため、一貫性がなかったという事実に気が付くことができた」(医学系研究科・助教)

「様々な授業スタイルに触れることができ、私も授業スタイルを工夫してみようという気持ちになった」(工学研究科・助教)

「今回のワークショップを通して、自分が管轄行っている授業とは違い違う授業手法があることを目の当たりにした」(学外・教授)

※今年度の3日コース、4日コースのワークショップは終了しました。



シンポジウム

国内外の講演者から
最新事例を学びます。

シンポジウム

教育学習支援センターでは、高等教育における国内外の最先端の知見を共有するために国際シンポジウムを開催しております。本年度は、Open Education について、海外から専門家を招聘し、話題をご提供いただきます。そして、日本の現状と照らし合わせながら日本の教育課題に応じた、Open Education の方向性について探っていきます。みなさまの奮ってのご参加を心よりお待ちしております。

■テーマ

オープンエデュケーションが拓く大学教育改革

■日時

2015年12月5日(土) 13:30～

■場所

大阪大学豊中キャンパス 基礎工学部シグマホール

■参加費

無料(同時通訳有り)事前申込制

■主催

大阪大学教育学習支援センター

■共催

JOCW(日本オープンコースウェア・コンソーシアム)

※最新の情報については、教育学習支援センターのウェブサイトに掲載します。

<http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/>



(昨年度の様子)



コンサルティングサービス

授業やシラバス、教授法、
アセスメントなどに関する
様々なご相談を承っております。

コンサルティングサービス

教育や指導に関してお困りのことはありませんか？複数の内容を組み合わせでお申し込みいただくことも可能です。随時、受け付けておりますので、教育学習支援センターのウェブサイトよりお気軽にご連絡ください。

<http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/consuform>



自己流で授業デザインをしているため、自信が持てない



自分の授業に対して学生はどう思っているのだろうか？



他の先生がどのような授業をしているのか見て学びたい



自分の授業を客観的に見直したい



タブレット端末やスマートフォンを活用した新しい教授法を取り入れたい



英語での講義を担当することになったのだが、不安を感じている



研究室をうまくマネジメントできない。良いルール作りや指導方法を知りたい



FDを企画・実施したいのだが、何から始めればよいのか分からない



もっとインタラクティブな授業に挑戦したい

◎シラバスのブラッシュアップ

新たに授業を担当する際、もしくは教育内容を変更する際、実際のシラバス作成作業を通して、授業をどのようにデザインするかご支援します。

◎MSF(Midterm Student Feedback)

TLSCのスタッフが授業に同行し、学生から授業に対するコメントを聞き取ります。授業終了後に、コメントをもとに改善策を練るご支援をします。

◎ピアレビュー

教員がお互いの授業を見学し、授業内容や方法について検討しあうことを通じて、授業を見直していくための場づくりを支援します。

◎授業撮影

授業の風景をビデオで撮影し、ご希望の記録媒体でお渡しいたします。また、学生の受講状態や教室の雰囲気等について改善策を一緒に検討します。

◎ICT活用支援

ICT機器(パソコン、プロジェクタ、タブレット端末、携帯端末等)の操作や設置の方法、授業での活用の仕方などのご提案や、授業への導入をお手伝いします。

◎TIE(Teaching in English)支援

英語で教えるための方法やテクニック等についての情報提供やお手伝いをします。

◎研究室教育支援

研究室でのルールづくり、一年間の行事の設定など、プロジェクトマネジメントの手法を取り入れた研究室運営に関する情報提供や研究室教育に関するご支援をします。

◎FD担当者支援

各学部や学科において企画された内容に応じてFDの講師を派遣しますので、お気軽にお声がけください。また、当センターで対応できない場合は、学内外の講師のご紹介もします。

◎アクティブ・ラーニング型授業の取り入れ方

学生の能動的な学びを促すための方法やペアワーク・グループワークを取り入れた授業に関する情報提供をします。またアクティブ・ラーニング型授業に関するご相談に応じます。

その他、下記のようなご相談にもお応えしています

- アンケート作成について知りたい
- 学生向けワークショップを企画したい
- 教材の作成について知りたい
- Echoシステムを利用してみたい



教育学習支援センター (TLSC) の今をお届けします。セミナーやワークショップ等でお寄せいただいた参加者の声も紹介します。

◎セミナーレポート

教育学習支援センターでは、
2015年度1学期は累計25以上の
FDセミナーを開催いたしました。その中から
今期新しく開催された5つのセミナーをご紹介します。

第1回目の授業でやるべきこと ～学習動機を高め、授業を俯瞰させる方法～

第1回目の授業は、学生の学習動機を高め、学生の学習のスタートをより刺激的なものとして与えることができる重要な機会です。4月3日、佐藤浩章准教授（全学教育推進機構）により、第1回目の授業でやるべきことを学ぶセミナーが開催されました。

〈参加者の声〉

- 第1回目の授業で必要なこととその他の方法が具体的に示されていて有益と感じました。（文学研究科・教員）
- まさに今必要としている内容であった。ぼんやりと思っていたことが明確に示されたので授業に活用したい。（国際教育交流センター・教員）



基礎から学ぶ学習評価

評価を変えることで、学生の学習時間や方法を大きく変えることができます。4月17日、佐藤浩章准教授（全学教育推進機構）により、学習評価方法を見直し、公平性・厳密性と効率性を満たすものにするためのヒントを学ぶセミナーが開催されました。

〈参加者の声〉

- 到達目標と評価方法の関連づけや相互評価、授業外の学習を促す方法など、学ぶところが多かった。（言語文化研究科・教員）
- 漠然としていた成績評価方法がよく分かりました。説明も具体的にとても良かったです。（学外・教員）



学生の内発的な学びを促す方法 ～演劇ワークショップの技法を用いて～

学生の内発的な動機づけを促すことは、長きに渡る教育課題であります。5月12日、運行特任講師（コミュニケーションデザイン・センター）により、ワークショップ手法や演劇の手法を用いて学生の動機づけを促す仕組みを学ぶセミナーが開催されました。

〈参加者の声〉

- 実際の教室で利用することを想定した時間配分や、いかに自分の講義内容も取り入れて実施するかを考えるなど、とても有意義でした。（学外・教員）
- 演劇（フィクション・設定）を取り入れるメリットを体感できた。（人間科学研究科・教員）



効果的なプレゼンに役立つ技法

今や、日々の授業に大活躍のスライドですが、作り方についての悩みを抱える方が多いのも事実。8月10日、浦田悠特任講師（教育学習支援センター）により、Mac の Keynote や Windows の PowerPoint などでも効果的なプレゼン資料を作成するためのデザインの法則や役に立つ機能を学ぶセミナーが開催されました。

〈参加者の声〉

- スライドを作る上での基本的な考え方がしっかり身についたと思います。すぐに役立つ技法も多く学びました。（文学研究科・教員）
- スライドの見本がすばらしいので、参考にして自分も作成できる気がしました。参加して面白かったです。（産学連携本部・職員）



授業資料の作成に役立つアプリケーションの活用

講義資料作成に際しての時間的な問題は多くの教員が抱えている問題です。8月17日、浦田悠特任講師（教育学習支援センター）によりパソコン（主に Mac）で利用できるアプリケーションを効果的に組み合わせ、資料作成の作業を飛躍的に効率化・高度化させる方法を学ぶセミナーが開催されました。

〈参加者の声〉

- 教材やアプリケーションの使い方が具体的にわかりやすく説明されていた。（医学系研究科・教員）
- 全く使ったことのないアプリケーションの紹介が多く、とても役立ちました。（学外・教員）



◎大学院生向けプログラムの紹介

「大阪大学未来の大学教員養成プログラム」始動！

2014年度から本格始動した「大阪大学未来の大学教員養成プログラム」。大学教員を志望している大学院生（修士課程・博士課程）を対象に、大学教員としての教壇に立つための様々なノウハウを学ぶ科目、「大学授業開発論Ⅰ」（2単位）も3期目を迎えました。1学期の「大学授業開発論Ⅰ」では様々な研究科から17名の大学院生が集まりました。また、今年度からは大学院等高度別プログラムとしてスタートし、さらに高度な教育技法を学ぶ「大学授業開発論Ⅱ」も開講し、4名の大学院生が履修しました。プログラムには以下の5つの科目が設定されています。

- 大学授業開発論Ⅰ
（授業デザインと教育技法の学習）
- 大学授業開発論Ⅱ
（高度な教育技法トレーニング）
- 大学授業開発論Ⅲ
（アカデミック・ポートフォリオの作成）
- 学術的文章の作法とその指導
（ライティング指導法のトレーニング）
- 現代キャリアデザイン特論
（キャリアデザインの方法と実践）

2学期には「大学授業開発論Ⅰ」が吹田キャンパスで11月21日、22日、24日の3日間の集中講義として開講されます。是非、大学教員を将来のキャリアとして考えている大学院生にお知らせください！

〈大学授業開発論Ⅰ修生の声〉

- 授業技法についての知識を身につけたことで、今後教育者を目指す決意を新たにすることができました。（人間科学研究科・大学院生）
- 他研究科の学生同士で話をする中で自分の考えも新たに、また他の学問についても興味を持つことができました。（医学系研究科・大学院生）

〈大学授業開発論Ⅱ修生の声〉

- 大学教員になりたい人にはオススメです。（経済学研究科・大学院生）
- 模擬授業だけでなく実際の授業を担当できたこと、それについてディスカッションやリフレクションができたことで、ひとつ上の教育実践力が身につきました。（人間科学研究科・大学院生）



TLSC STAFF

わたしたちが、
研修講師・コンサルタントを務めます。

所属は2015年9月現在です。



竹村治雄
センター長
サイバーメディアセンター・教授



佐藤浩章
副センター長
全学教育推進機構・准教授



堀 一成
副センター長
全学教育推進機構・准教授



家島明彦
教育学習支援センター・講師



浦田 悠
教育学習支援センター・特任講師



大山牧子
教育学習支援センター・特任助教



榎藤千恵
教育学習支援センター・特任研究員



根岸千悠
教育学習支援センター・特任研究員



シング クムド ビラハム
教育学習支援センター・特任研究員



岩居弘樹
全学教育推進機構・教授



兼松泰男
産学連携本部・教授



山口和也
全学教育推進機構・教授



黒田嘉宏
サイバーメディアセンター・准教授



西森年寿
人間科学研究科・准教授



松河秀哉
全学教育推進機構・助教



松行輝昌
全学教育推進機構・准教授



漁師みゆき
教育学習支援センター・特任研究員



嶋崎りさ子
教育学習支援センター・事務補佐員